

がん対策と核医学

9月 30日 (金) 17:30~18:30

大阪大学医学部講義棟 3階 E 講堂

厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 課長補佐
渡部 直史 先生

がんは、日本で 1981 年より死因の第 1 位であり、現在、生涯のうちに約 2 人に 1 人ががんにかかると推計されている。がんは国民の生命と健康にとって重大な問題であり、2007 年には、がん対策をより一層推進するため、がん対策基本法が施行され、「がん対策推進基本計画」が策定された。現在、国と地方公共団体、がん患者を含めた国民等の関係者が一体となって、がん対策を進めている。

2012 年 6 月に閣議決定された「第 2 期がん対策推進基本計画」では放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成が重点的に取り組むべき課題として挙げられた。現在、「次期基本計画」に向けての議論が重ねられているが、今後の方向性の中で核医学治療である RI(Radioisotope) 内用療法を推進する体制作りが必要とされている。本講演では国のがん対策と核医学治療への期待について、最近の規制の動向と併せて紹介したい。

＜略歴＞

- 2004 年 3 月 大阪大学医学部医学科卒業
- 2004 年 5 月 西宮市立中央病院 臨床研修医
- 2006 年 4 月 桜橋渡辺病院循環器内科 医師
- 2007 年 4 月 大阪大学医学部附属病院 放射線科 医員
- 2008 年 4 月 国立循環器病センター放射線部 レジデント
- 2009 年 4 月 大阪大学医学部附属病院 核医学診療科 医員
- 2013 年 3 月 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了
- 2013 年 4 月 大阪大学大学院医学系研究科 医薬分子イメージング学寄附講座 寄附講座助教
- 2015 年 4 月 大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座 助教
- 2016 年 6 月 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 課長補佐
大阪大学大学院医学系研究科 招へい教員

主 催: 未来医療イメージングセンター

連絡先: 06-6879-3461

tsunoda@tracer.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.pet.med.osaka-u.ac.jp/index.html>